

## 講義シラバス

科目名	衛生管理Ⅰ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	沖田史代	講師 プロフィール	看護師として病院に勤務後、2018年より札幌ベルエポック美容専門学校にて講師として衛生管理を担当しています						

**【授業を通じての到達目標】**

美容師は髪や頭皮など人の身体に直接触れる仕事なので、使用する器具や施術における衛生管理の重要性と知識が習得できる。  
国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身に付ける。

**【学習内容】**

美容師に必要な衛生管理の知識として、「公衆衛生」「環境衛生」「感染症(総論)」を教科書を中心として解説し、練習問題を行う。

**【使用教科書・教材・参考図書】**

**【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

衛生管理の教科書・授業で配布したプリント

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/17)	シラバスを通して衛生管理の学習内容が理解できる。公衆衛生とは何か。どのように発展してきたのか歴史を学び、わが国の公衆衛生の歩みについての知識が習得できる。	⑨ (6/19)	上・下水道と廃棄物に関する知識が習得できる。
② (4/24)	歴史の中の美容師と公衆衛生について知ることができる。公衆衛生の第一機関としての役割を担っている保健所のはたらきと、美容師とのかわりについて知識が習得できる。	⑩ (6/26)	衛生害虫とネズミに関する知識が習得できる。環境保全の水質汚濁について理解できる。
③ (5/8)	母子保健について知識が習得できる。	⑪ (7/3)	人と感染症の歴史に関する知識が習得できる。感染症と法律、感染症の分類に関する知識が習得できる。
④ (5/15)	成人・高齢者保健について知識が習得できる。	⑫ (7/17)	病原微生物に関する知識が習得できる。(種類、形、大きさ、構造、増殖と環境の影響)
⑤ (5/22)	成人・高齢者保健について知識が習得できる。精神保健について知識が習得できる。	⑬ (7/24)	感染症の予防 微生物の病原性と人の感受性、汚染、感染及び発病、常在細菌叢に関する知識が習得できる。
⑥ (5/29)	環境衛生とは何か。目的や意義、環境衛生活動について知識が習得できる。	⑭ (8/21)	感染症の予防 免疫と予防接種、感染症の発生の要因、感染症予防の三原則に関する知識が習得できる。
⑦ (6/5)	空気環境・温熱環境と人の健康の関わりについて知識が習得できる。	⑮ (8/28)	定期試験 衛生・環境衛生・感染症(総論)の範囲で試験
⑧ (6/12)	衣服・住居の衛生に関する知識が習得できる。		【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

**【履修に当たっての心構え・留意点】**

## 講義シラバス

科目名	保健Ⅰ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数 30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生	
講師名	岡田弥生	講師 プロフィール	母であり、看護師でもあるのでいろいろな意味で皆さんのベルの母になれたらいいです。					

### 【授業を通じての到達目標】

美容業に従事する者にとって密接な関係にある保健について内容を十分に理解し、知識を得る。国家試験に向けてポイントを整理することができる。

### 【学習内容】

美容師に必要な人体の構造と機能、皮膚科学を理解し、授業をとおして知識を習得していくことができる。教科書、プリントなどを用い、適宜小テストなどを行う

### 【使用教科書・教材・参考図書】

筆記用具・指定教科書・シラバス・配布資料・各自使用道具

### 【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/17)	【到達目標】 自己紹介を通してを互いを理解していく。 なぜ保健の学習が必要か理解する	⑨ (6/29)	【到達目標】 循環器系のなりたち、仕組みを理解する
② (4/24)	【到達目標】 頭部、顔部、頸部の体表解剖学について理解する。 (学習後確認テストの施行)	⑩ (6/26)	【到達目標】 血液循環についての知識を深め理解する(確認テスト)
③ (5/8)	【到達目標】 骨格器系について理解する(学習後確認テストの施行)	⑪ (7/3)	【到達目標】 呼吸器系の成り立ちについて理解する(学習後確認テストの施行)
④ (5/15)	【到達目標】 筋系について理解する(学習後確認テストの施行)	⑫ (7/17)	【到達目標】 消化器系のあらましについて知識を深め理解する
⑤ (5/22)	【到達目標】 神経系について理解する(学習後確認テストの施行)	⑬ (7/24)	【到達目標】 消化器の働きについて理解し知識を深める。
⑥ (5/29)	【到達目標】 神経系について理解する(学習後確認テストの施行)	⑭ (8/21)	【到達目標】 これまでの授業の内容を理解しているか復習、確認し定期テスト
⑦(6/5)	【到達目標】 これまでの授業の内容を理解しているか復習、確認。	⑮ (8/28)	【定期試験】50 人体の構造及び機能から出題。
⑧ (6/12)	【到達目標】 血液免疫系知識を深め理解する	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)	
【履修に当たっての心構え・留意点】		●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

## 講義シラバス

科目名	文化論 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	大澤 慶太	講師 プロフィール	原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わり様々な授業を担当してきました。現在は座学の授業を主に担当。						

### 【授業を通じての到達目標】

美容・ファッションの歴史を学び、感性を養い、業界の知識を得る。  
 国家試験筆記課題として重要なポイントを学ぶ。国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身に付ける。

### 【学習内容】

文化論の内容を理解し、美容業の歴史、日本のファッション文化史について学び、過去問題の意図を読み取り解答を導けるようになる。  
 それぞれが文化論を研究し、テーマを考え、発表を行う

### 【使用教科書・教材・参考図書】

教科書文化論、筆記用具

### 【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/17)	文化論が国家試験の必須科目であることを理解する。美容がどのように社会と関わっているかを考える。美容の定義、語義について学ぶ。 身近な美容ファッションについて調べ、文化論にふれる。	⑨ (6/19)	近代【明治・大正・昭和20年まで】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する③
② (4/24)	日本の理容業・美容業の歴史について、その発生・制度・動向を学び理解する。	⑩ (6/26)	現代 I【1945～1950年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する①
③ (5/8)	縄文・弥生・古墳時代、古代【飛鳥・奈良・平安時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び、理解する。	⑪ (7/3)	現代 I【1945～1950年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する②
④ (5/15)	中世【平安末・鎌倉・室町・戦国時代】近世 I【戦国末・安土桃山時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	⑫ (7/17)	現代 II【1960年代～1970年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。
⑤ (5/22)	近世 II【江戸時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	⑬ (8/21)	現代 II【1960年代～1970年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。
⑥ (5/29)	近世 II【江戸時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	⑭ (8/28)	前期内容の振り返りと、練習問題の解答、解説
⑦ (6/5)	近世 II【江戸時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	⑮ (8/28.30)	【定期試験】60 日本のファッション文化について特徴を理解しているか。4択問題を中心に出题。
⑧ (6/12)	【到達目標】 近代【明治・大正・昭和20年まで】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する②		【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)

### 【履修に当たっての心構え・留意点】

遅刻・欠席・教科書等の忘れ物に注意し、授業に参加しましょう。

●評価方法  
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

## 講義シラバス

科目名	美容技術理論Ⅰ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	飯嶋美智江	講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就く。これまでの国家試験科目を含む実技授業・指導の経験を活かした内容の授業を心掛け、現在は美容技術理論を担当。						

### 【授業を通じての到達目標】

美容師として必要な用具・技術の理論について知識を身に付ける。国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身に付ける。

### 【学習内容】

国家試験になぜ実技と筆記があるのか考える。美容に関する専門用語・道具・名称・技術手順など、教科書を中心にサロンワークと関連づけて解説する。

### 【使用教科書・教材・参考図書】

美容技術理論①教科書 ・B5判ノート(専用ノート) ・筆記用具

### 【授業時間外における学習・宿題・課題など】

教科書の写真・図の理解を深める。

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/17)	【到達目標】 授業内容の説明 美容技術者としての心構え・作業姿勢・人体各部の名称を学び理解する。(知識不足だとどうなるか考える)	⑨ (6/19)	【到達目標】 ②パーマントウェーブ技術の手順を学び理解する。
② (4/24)	【到達目標】 美容用具の名称・選定法・手入れ法・使用目的を学び理解する。(コームの持ち方いろいろ体験)	⑩ (6/26)	【到達目標】 ①ヘアカラーリング剤の種類と染毛のメカニズム・色の基本を学び理解する。
③ (5/8)	【到達目標】 ①シャンプーイングの目的など施術によって使い分ける技術・シャンプー剤の種類を学び理解する。(エアシャンプー姿勢など体験)	⑪ (7/3)	【到達目標】 ②酸化染毛剤の技術手順とヘアブリーチの違いとポイントを学び理解する。
④ (5/15)	【到達目標】 ②リンス・コンディショナー・トリートメントの違いや成分、スカルプトリートメント・スカルプマッサージを学び理解する。(ウイックを使用してマッサージを体験)	⑫ (7/17)	【到達目標】 ①ヘアセッティング/オールウェーブセッティングの実技に必要な基礎知識を学び理解する。
⑤ (5/22)	【到達目標】 ヘアデザイン(創造力を養う)をお客様に提案できる基礎知識からのプロセスを学び理解する。	⑬ (7/24)	【到達目標】 ②ヘアセッティング/ブロードドライやバックコーミングに必要な基礎知識を学び理解する。
⑥ (5/29)	【到達目標】 ①ヘアカットの目的・基礎理論を学び理解する。(スライス線と長さの関係を体験)	⑭ (8/21)	【到達目標】 美容技術理論①の重要ポイントの強化、復習を中心に進めて定期試験対策を集中的に行う。
⑦ (6/5)	【到達目標】 ②ベーシックな4つのヘアスタイルの特徴とカット技法を学び理解する。	⑮ (8/28)	【定期試験】60点 <定期試験>4択問題を中心に行い、読解力を鍛えることを目的とする。
⑧ (6/12)	【到達目標】 ①毛髪の構造とパーマントウェーブが形成される仕組みを学び理解する。(パーマ剤の種類と特徴)	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)	

### 【履修に当たっての心構え・留意点】

問題意識をもって授業への参加を心がけよう!!

●評価方法  
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

講義シラバス									
科目名	運営管理 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース		学年	1年生				
講師名	島 一浩	講師 プロフィール	<b>[職歴]</b> 1984年～2021年：地方公務員(市役所職員) 2021年～：研修講師、経営コンサルタントなど <b>[資格・学位]</b> 国家資格キャリアコンサルタント、CDA(キャリア・デベロップメント・アドバイザー)、NLPプラクティショナーなど MBA(経営管理修士)						
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
美容師と必要なサロン運営、サロン経営、保険について理解する。国家試験に出題傾向の高い重要ポイントを理解する。 国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身に付ける。									
<b>【学習内容】</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>美容師国家試験で出題される「運営管理」の問題に正しく解答するために必要な知識と考え方のポイントを習得する</li> <li>「経営者」「従業員」「顧客」の3つの視点から美容業についての理解を深め、美容師として活躍し、顧客を満足させるサービスの担い手となるための知識とマインドを身に付ける</li> <li>社会人として活躍するために必要な基礎知識やマナーを習得し、仕事や社会活動への適応力を身に付ける</li> </ul>									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
「運営管理」教科書、パワーポイントのスライド、プリント(授業ノート・その他)					宿題・課題は課さないが、予習・復習を行うこと ・予習～各授業での履修範囲について、教科書の本文を一読しておく ・復習～各授業の補足プリントの見直しを行う(プリントはレターファイルなどで整理)				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/16)	<b>【到達目標】</b> ・「運営管理」の授業について、「授業を通じての到達目標」、「学習内容」、「履修に当たっての心構え・留意点」などについて理解する ・授業の構成や全体の計画について理解する ・授業への積極的な参加を促し、知識の効果的な習得を実現するために必要なコミュニケーション力を身に付ける(グループワークによるコミュニケーションのトレーニング)				⑨ (6/18)	<b>【到達目標】</b> ・「社会保険(医療保険)」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.68～p.73 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第2章 従業員としての視点から 第3節 社会保険② 医療保険			
② (4/23)	<b>【到達目標】</b> ・サロンの「経営」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.8～p.17 第1編 経営者の視点 — 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 経営とは何か ～ 第5節 経営戦略②				⑩ (6/25)	<b>【到達目標】</b> ・「社会保険(労働保険)及び美容師としてのキャリアプラン・役割」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.74～p.83 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第2章 従業員としての視点から 第4節 社会保険③ 労働保険 ～ 第6節 仕事をするうえで考えるべきこと			
③ (5/7)	<b>【到達目標】</b> ・「美容業の経営」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.18～p.33 第1編 経営者の視点 — 第2章 美容業・美容業の経営について 第1節 業界の概要 ～ 第5節 美容業・美容業の顧客				⑪ (7/2)	<b>【到達目標】</b> ・「美容業におけるサービス・デザイン」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.100～p.119 第3編 顧客のために — 第1章 サービス・デザイン 第1節 サービスを考えるうえで重要なこと ～ 第7節 新しいサービスをデザインしてみよう			
④ (5/14)	<b>【到達目標】</b> ・「美容業の経営における資金の管理(資金管理・会計・コスト管理)」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.34～p.41 第1編 経営者の視点 — 第3章 資金の管理 第1節 資金管理の重要性 ～ 第4節 コストを管理する				⑫ (7/9)	<b>【到達目標】</b> ・「美容業におけるマーケティング」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.120～p.137 第3編 顧客のために — 第2章 サービス・マーケティング 第1節 美容業・美容業のマーケティング ～ 第7節 情報コミュニケーション技術の活用について			
⑤ (5/21)	<b>【到達目標】</b> ・「美容業の経営における資金の管理(税金)」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.42～p.45 第1編 経営者の視点 — 第3章 資金の管理 第5節 税金について ～ 第6節 税金の申告				⑬ (7/23)	<b>【到達目標】</b> ・「美容業のサービスにおける人の役割」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.138～p.157 第3編 顧客のために — 第3章 サービスにおける人の役割 第1節 接客についての理解 ～ 第9節 問題を深刻化させないための対策・対処			
⑥ (5/28)	<b>【到達目標】</b> ・「美容業について、人(従業員)のマネジメント」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.48～p.61 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第1章 人という資源 第1節 人という資源とは ～ 第6節 労働者の権利				⑭ (8/20)	<b>【到達目標】</b> ・「美容業の運営管理」の全般について復習し、要点の確認・知識の定着を図る [教科書の範囲] p.8～p.157 第1編 経営者の視点 ～ 第3編 顧客のために			
⑦ (6/4)	<b>【到達目標】</b> ・「美容業について、従業員の健康・安全・責任」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] 第2編 人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員としての視点から 第1節 社会人としての責任・美容業・美容業の従業員としての責任 p.62～p.63 第3章 健康・安全な職場環境の実現 第1節 健康管理の基礎～第4節 美容・美容の作業環境に関する健康問題 p.84～p.97				⑮ (8/27)	<b>【定期試験】60</b> ・「美容業の運営管理」の全般について、試験による習得度の測定を行う [出題範囲] 教科書 p.8～p.157 第1編 経営者の視点 ～ 第3編 顧客のために			
⑧ (6/11)	<b>【到達目標】</b> ・「社会保険(公的年金)」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.64～p.67 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第2章 従業員としての視点から 第2節 社会保険① 公的年金				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
					<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト40点/定期試験60点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									
<授業への出席> 欠席、遅刻、早退がないように心掛けること <授業への参加態度> 講師と学生、学生同士の良好なコミュニケーションと協調性に留意すること <必要な持ち物> 教科書、筆記用具(鉛筆(シャープペンシル)・蛍光ペン)、ノート、レターファイルなど									

## 講義シラバス

科目名	美容実習 I (カット&スタイリング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	大澤慶太 佐藤萌	講師 プロフィール	佐藤先生: ベルエポック美容専門学校卒業後、asteriskにて今年度から8年目勤務になります						

### 【授業を通じての到達目標】

毛髪の構造や特性を理解し、基本的なカット技術の知識、技術を身につける  
正しい道具の使い方を学び、ベーシックなカットスタイルを正確に切れるようになる  
カットの仕上がりに合わせたスタイリングを学び、ドライやブロー、アイロン技術を身につける

### 【学習内容】

- ・基本的なカット技術(ワンレングス、グラデーション、レイヤー等)
- ・ドライ、ブロー技術
- ・カットの基本理論(骨格、髪の流れ、似合わせカット等)

### 【使用教科書・教材・参考図書】

ウィッグIP150 5個、カット道具一式、ブロー道具一式、スタイリング剤

### 【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/14)	授業の目的と使用道具について理解する 授業に必要な頭部の名称について理解する	⑨ (6/23)	グラデーションカットを理解する グラデーションカットを理解し、上げることができる ウッグ①
② (4/21)	ワンレングスカットを理解する カットするために必要なブロッキング、シザーの開閉を理解する ウッグ①	⑩ (6/30)	グラデーションスタイルを完成することが出来る グラデーションカットとブロー技術を行い、ヘアスタイルを完成することが出来る ウッグ①
③ (5/12)	ワンレングスカットを理解する ワンレングスカットを理解し、上げることができる ウッグ①	⑪ (7/7)	グラデーションスタイルを完成することが出来る グラデーションカットとブロー技術を行い、ヘアスタイルを完成することが出来る ウッグ②
④ (5/19)	ワンレングスカットを理解する ワンレングスカットに合わせたブロー技術を理解する ハンドブロー、デンマンブラシ、ロールブラシの使い方を理解する ウッグ①	⑫ (7/14)	レイヤーカットを理解する レイヤーカットを理解し、上げることができる ウッグ①
⑤ (5/26)	ワンレングススタイルを完成することが出来る ワンレングスカットとブロー技術を行い、ヘアスタイルを完成することが出来る ウッグ①	⑬ (8/18)	レイヤーカットを理解する レイヤーカットを理解し、上げることができる ウッグ①
⑥ (6/2)	ワンレングススタイルを完成することが出来る ワンレングスカットとブロー技術を行い、ヘアスタイルを完成することが出来る ウッグ②	⑭ (8/25)	レイヤースタイルを完成することが出来る レイヤーカットとブロー技術を行い、ヘアスタイルを完成することが出来る ウッグ②
⑦ (6/9)	ワンレングススタイルを完成することが出来る ワンレングスカットとブロー技術を行い、ヘアスタイルを完成することが出来る ウッグ②	⑮ (9/1)	【定期試験】60 定期試験 ワンレングスカット&グラデーションカットのカット技術 ウッグ③
⑧ (6/16)	【到達目標】 グラデーションカットを理解する グラデーションカットに必要な知識を身に付ける ウッグ①	【成績評価の方法と基準】	

### 【履修に当たっての心構え・留意点】

忘れ物をしない  
道具を大切に(自己管理)  
ウッグを間違えない(ナンバリングと名前を記入)

- 小テスト40点/定期試験60点
- 評価  
A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)  
E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)
- 評価方法  
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。



## 講義シラバス

科目名	美容実習Ⅰ (シャンプー&サロンワーク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	園田 翔太郎 福士 琉星	講師 プロフィール	美容専門学校卒業後、サロンにてアシスタント・スタイリストとしての経験を積む。美容師、ヘアメイクとして活動しながらベルエポックで学生教育に携わる。それぞれの経験を生かし即戦力となる技術スキル・人間力を授業を通して伝えていきます。						
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
授業を通して、サロン内での基本的な業務の流れを理解し順序立てて行うことができる。衛生面や挨拶、時間管理、マナーを学び、プロフェッショナルな態度で接する力を身につけることができる。シャンプーからスタイリングまでの技術をサロンワーク内で実践できるようになる。									
<b>【学習内容】</b>									
シャンプー、トリートメント、ヘッドマッサージ、ドライ、ブロー、スタイリングの基礎技術を学ぶ。サロンワークに必要な知識、接客、コミュニケーション力を実践しながら学ぶ。									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
シャンプー道具一式・カラー道具一式・パーマ道具一式 デンマンブラシ・ドライヤー・アイロン・コテ・タオル・筆記用具 スタイリング剤					定期的な宿題がある場合も有				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/15)	【到達目標】 シラバス、授業のルール、サロンワーク実習室の使い方を理解する。シャンプーのつけ方、シャンプーの基礎手順(動き)について理解する。サロンワーク授業を通して、身につける力、自身の目標を考えイメージすることができる。				⑨ (6/24)	【到達目標】 モデルに合わせたスタイリングを実践することができる。 (レディース、メンズ)(ノーセットからスタート)(相モデルで実践) スタイリング→シャンプー			
② (4/22)	【到達目標】 シャンプーの基礎手順(動き)について理解する。ウェット～泡立て～流しまでの動作を理解し実践することができる。(相モデルで実践) サロン内での挨拶、お声がけを実践してできるようになる。				⑩ (7/1)	【到達目標】 サロンワークを意識したご案内ができるようになる。ご案内～シャンプー、ドライ、スタイリングの一連の流れを実践できるようになる。実践を通して多くのコミュニケーションをとることができる。(相モデルで実践)			
③ (5/13)	【到達目標】 ドライの動作・手順について理解する。シャンプー、トリートメント、ドライの流れを実践してできるようになる。(相モデルで実践) タオルターバンができるようになる。				⑪ (7/8)	【到達目標】 ブローの技術について理解する。シャンプー～ドライまで実践。ブロー基礎を実践してできるようになる。(相モデルで実践)			
④ (5/20)	【到達目標】 シャンプー、トリートメント、ドライの流れを実践してできるようになる。(相モデルで実践) 時間がたっても消えない泡立てができるようになる。				⑫ (7/15)	【到達目標】 シャンプー、ブロー、スタイリングの流れをスピードを上げて実践することができる。(相モデルで実践) 苦手の技術を克服する。			
⑤ (5/27)	【到達目標】 シャンプー、トリートメント、ドライの流れを実践してできるようになる。(相モデルで実践) ドライを効率良く実践してできるようになる。お客様へ心地良い施術ができる技術力を身につける。				⑬ (7/22)	【到達目標】 髪質改善トリートメントを実践し、流れ・技術を理解する。(相モデルで実践) アイロンワークの技術を身につける。			
⑥ (6/3)	【到達目標】 シャンプー、トリートメント、ドライの流れを実践してできるようになる。(相モデルで実践) ヘッドマッサージを実践してできるようになる。ヘッドマッサージの効果、意味を理解することができる。				⑭ (8/19)	【到達目標】 定期試験に向けたトレーニング 時間内でシャンプーからスタイリングまでを終えることができるようになる。サロンでの立ち振る舞いを意識した動きができるようになる。			
⑦ (6/10)	【到達目標】 6/10PM(全クラス) ナブラドリームプラス見学参加 外部のイベントに参加し、感性を磨く。美容師のセンスを見て学ぶ。				⑮ (8/26)	【定期試験】60 ご案内～スタイリングまでの流れを実践。 シャンプー技術:20分 ドライ～スタイリング技術:40分 サロンワークを意識した服装であること。			
⑧ (6/17)	【到達目標】 スタイリングの基礎技術を理解する。(レディース、メンズ) (ノーセットからスタート)(相モデルで実践) スタイリング→シャンプー				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
忘れ物、授業態度がよろしくない場合は小テストから減点します。					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

## 講義シラバス

科目名	美容実習Ⅰ (ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	北俣京子 稲川千絵	講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務 数年前よりベルエポック美容学校講師として勤務						

### 【授業を通じての到達目標】

国家試験合格に必要な知識・技術・姿勢を身につけることができる。  
ワインディングの全体の構成を理解し、実践することができる。  
用具の扱い方、基本の巻き方を理解し、実践することができ、授業への取り組み方、基礎的技術を学ぶ。

### 【学習内容】

準備片付けを効率よく進め上巻き下巻き姿勢の技術習得

### 【使用教科書・教材・参考図書】

WD用具一式・ノート・筆記用具・名札

### 【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① 4/16	【到達目標】 用具の取り扱い、セッティングの仕方を身につける 二重ゴムができる	⑨ 6/18	【到達目標】 フロントのブロッキングスライス、 姿勢、ステムを理解し巻ける
② 4/23	【到達目標】 ウィックの取り扱い コームの持ち方、回転の仕方 センターブロッキングが取れるようになる	⑩ 6/25	【到達目標】 右BSのスライス、姿勢、ステムを理解し スムーズに巻ける
③ 5/7	【到達目標】 スライス、シェーブ、ゴムの掛け方上巻きを身につける	⑪ 7/2	【到達目標】 右BS、サイド、スライス、シェーブを意識し バランス良く収められる
④ 5/14	【到達目標】 正しい目線、姿勢、上巻きがスムーズにできる 12ブロッキングができる	⑫ 7/9	【到達目標】 姿勢、スライス、ステム、シェーブを意識し バランス良く収められる
⑤ 5/21	【到達目標】 スライス、ステムの理解 正しい姿勢、下巻きができる 12ブロッキング 8分	⑬ 7/23	【到達目標】 センターのロッドを真っすぐ収め 右BSをバランス良く収められる
⑥ 5/28	【到達目標】 下巻きがスムーズに巻ける 上巻き 1本30秒	⑭ 8/20	【到達目標】 ブロッキング 7分 センター・右BS 25分 時間内完成
⑦ 6/4	【到達目標】 ブロッキング 8分 上巻き、下巻きがスムーズに巻ける	⑮ 8/27	【定期試験】50 バランス良く収め時間内完成 センター・右BS 25分
⑧ 6/11	【到達目標】 ブロッキング 7分 センターWD 13分で巻き終わる	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)	

### 【履修に当たっての心構え・留意点】

●評価方法  
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

## 講義シラバス

科目名	美容総合 I (ヘアアレンジ & メイク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	森夏子 神敦子	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
基本的なヘアアレンジ技術(編み込み、巻き髪、アップスタイル等)を確実に習得する手順に従って安定した仕上がりができるようになる。 髪型や顔型や髪質、ライフスタイルから最適なヘアアレンジを提案する能力を身につける									
【学習内容】									
・基本的なヘアアレンジ(編み込み、巻き髪、アップスタイル等) ・ニーズに合わせたヘアアレンジについて ・ヘアアレンジのバリエーションについて ・メイク技術の基本知識、技術									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘア道具、メイク道具、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/15)	【到達目標】小テスト2点 オリエンテーション				⑨ (6/24)	【到達目標】小テスト3点 髪の長さ合わせたヘアアレンジ(相モデル)			
② (4/22)	【到達目標】小テスト2点 スパイラル巻き(内巻き)、黒ゴム、ポニーテールアレンジ				10 (7/1)	【到達目標】小テスト3点 髪の長さ合わせたヘアアレンジ(相モデル)			
③ (5/13)	【到達目標】小テスト2点 スパイラル巻き(外巻き)、ピン打ち				11 (7/8)	【到達目標】小テスト3点 顔の名称やスキンケア・メイク手順を学ぶ			
④ (5/20)	【到達目標】小テスト2点 スパイラル巻き(ミックス)、編み込み				12 (7/15)	【到達目標】小テスト3点 ナチュラルメイク(相モデル)			
⑤ (5/27)	【到達目標】小テスト3点 ウェーブ巻き(カールアイロン、ストレート)、-halfアップ				13 (7/22)	【到達目標】小テスト3点 カラーメイク(相モデル)			
⑥ (6/3)	【到達目標】小テスト3点 編み下ろし、リボンアレンジ、フルールヘア				14 (8/19)	【到達目標】小テスト3点 モデルに合わせたヘアアレンジ+ポイントメイク(相モデル)			
⑦ (6/10)	【到達目標】小テスト3点 アップスタイル、(タイト・ルーズ)				15 (8/26)	【定期試験】60 定期試験			
⑧ (6/17)	【到達目標】小テスト5点 中間チェック				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)				
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

## 講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	白山かがり 岩淵太秀	講師 プロフィール							

### 【授業を通じての到達目標】

多様な人々と円滑にコミュニケーションを取り、協力して成果を出せる  
社会で必要とされる基礎的なマナー・ルール・モラルを理解し、実践できるようになる  
課題を自ら発見し、主体的に取り組む姿勢を身につけることができる

### 【学習内容】

グループワークを通じてコミュニケーション能力を学ぶ  
テキストを活用し、社会人基礎力を学ぶ  
目標や計画の立案から実施、振り返りのサイクルを学び、自分で考えて行動するマインドを学ぶ

### 【使用教科書・教材・参考図書】

・学生便覧・学年暦・時間割・筆記用具・メモ帳

### 【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/16)	<p>【到達目標】多様な人々と円滑にコミュニケーションを取り、協力して成果を出せる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス目標設定 ※グループワーク</li> <li>・リクエストQJについて(告知) (5月8日実施)</li> <li>・ベルリンピッククラス実行委員決め</li> <li>・サツコレについて</li> </ul>	⑨ (6/18)	<p>【到達目標】コミュニケーションスキルを学び、集団生活に活かせるようになる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションスキルアップ検 定対策授業①</li> <li>・席替え</li> </ul>
② (4/23)	<p>【到達目標】多様な人々と円滑にコミュニケーションを取り、協力して成果を出せる 個人目標の設定をし、2年間の学校生活のイメージが出来るようになる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人目標設定 ・2年後の自分へ</li> <li>・セレクト授業について(SHR)</li> <li>・個別面談について</li> <li>・外部ガイダンスについて</li> <li>・リクエストQJ説明</li> </ul>	⑩ (6/25)	<p>【到達目標】コミュニケーションスキルを学び、集団生活に活かせるようになる 今月の自分を振り返ることで次月の課題を見つけ目標設定を見直す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションスキルアップ検 定対策授業②</li> <li>・6月振り返り</li> <li>・クラスミーティング (ベルリン戦略会議)</li> </ul>
③ (5/7)	<p>【到達目標】社会で必要とされる基礎的なマナー・ルール・モラルを理解し、 実践できるようになる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月振り返り</li> <li>・大人としての諸対応</li> <li>・GW後振り返り</li> <li>・海外研修について(LA &amp; 韓国)</li> <li>・席替え</li> </ul>	⑪ (7/2)	<p>【到達目標】コミュニケーションスキルを学び、集団生活に活かせるようになる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションスキルアップ検 定対策授業③</li> <li>・ベルリン最終確認</li> </ul>
④ (5/14)	<p>【到達目標】多様な人々と円滑にコミュニケーションを取り、協力して成果を出す 様々な意見を受け入れ、前向きに考えることができるようになる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスミーティング</li> <li>・ベルリンピック競技決め</li> <li>・菊地「THE BEAUTY」について</li> </ul>	⑫ (7/9)	<p>【到達目標】コミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す 行事を振り返り、得たことや気づきを明確にし今後どう活かすか考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションスキルアップ検 定模擬試験</li> <li>・ベルリンピック振り返り</li> </ul>
⑤ (5/21)	<p>【到達目標】地域からの信頼について考える 地域の信頼を得るためには どのような行動や活動が必要かを考え、実行に移す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域清掃</li> <li>・地域の信頼について 信頼とは 信頼を得るためには</li> <li>・席替え</li> <li>・グループワーク</li> <li>・外出(ゴミ拾い)</li> </ul>	⑬ (7/23)	<p>【到達目標】コミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す 今月の自分を振り返ることで次月の自分の課題を設定し、目標設定を見直す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションスキルアップ検 定試験日</li> <li>・7月振り返り</li> <li>・1Sの到達目標確認</li> <li>・成績評価について</li> <li>・夏休みの過ごし方について</li> <li>・学生便覧(成績評価)</li> </ul>
⑥ (5/28)	<p>【到達目標】目標や計画の立案から実施、振り返りのサイクルを学び、 自分で考えて行動するマインドを学ぶ 様々な考え方を受け入れる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月振り返り (便覧使用)</li> <li>・クラス形成プログラム (思考の枠)</li> <li>・学年、学期、クラス目標を振り返る</li> </ul>	⑭ (8/20)	<p>【到達目標】自分が目指す将来像を明確にし、目標に向けて何をすべきか考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションリハー サル</li> <li>・PP作成</li> </ul>
⑦ (6/4)	<p>【到達目標】業界をリサーチすることで就職活動に必要なサロン情報を収集する 働く場所をイメージして就職意識を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業界研究</li> <li>・ドリアラ説明</li> <li>・後期カスタマイズ授業について</li> </ul>	⑮ (8/27)	<p>【定期試験】60</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション</li> <li>・PP作成</li> </ul>
⑧ (6/11)	<p>【到達目標】課題を自ら発見し、主体的に取り組む姿勢を身につけることができる 他校の学生から知識を得て、学ぶ姿勢を参考にする</p> <p>授業内で救命講習実施 1組: 6/2(月) 2組: 6/11(水)</p>	<p>【成績評価の方法と基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト40点/定期試験60点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>	
<p>【履修に当たっての心構え・留意点】</p>			